

【学校だより】

南アルプス市立小中一貫校 芦安小中学校

芦安っ子

【学校教育目標】

郷土を愛する心と夢を育み

未来を拓く人づくり

令和4年12月21日 NO.8

芦安小学校長



いよいよ冬休み！

今年の振り返りと新年の目標設定を！



早いもので充実した2学期も今週末で終わりを迎え、24日から17日間の冬休みとなります。今学期を振り返ってみると、子どもたちが諸行事や学習等で生き生きと活躍する姿をたくさん見ることができ、大変うれしく思います。これも、地域や保護者の皆様方のご理解とご協力があったからこそ実現できたことです。改めて感謝申し上げます。明日の個別懇談でも、子どもたちの成長をたくさんお伝えする予定です。ご家庭でも4月からの成長を大いに褒めてあげてください。

冬休みは、大晦日やお正月など、一年のうちでも日本の伝統行事や文化に触れる機会が多くなります。家族と過ごす時間も増え、年末年始ならではのお手伝いの場面が多くでてくると思います。家族の一員として子どもたちにはお手伝いをさせてください。「家族の役に立つことができた」「喜んでもらえた」という体験は自己有用感の醸成につながります。

休み中は、何よりも健康で過ごすことに留意し、引き続きコロナ感染症対策は徹底してください。また、インフルエンザ等の感染症も心配される時期です。手洗い・うがいの励行、規則正しい生活を心がける等、くれぐれもご用心ください。

1月10日(火)の3学期始業式では、子どもたちの元気な「おはようございます」の声で新しい年を迎えられることを願っています。どうぞよいお年をお迎えください。



読書週間の取り組み

～読み聞かせと図書集会～

読書週間の取り組みの一つとして、先生方による読み聞かせを行っています。今年は11月24日と12月7日の2回にわたって全職員が学年を変えて実施しました。先生方と子どもたちが本を囲んで楽しいひと時を過ごしました。30日には図書委員会の主催で図書集会を行いました。パネルシアターやクイズ、伝言ゲーム等、工夫を凝らした本の紹介や活動がありとても楽しい時間を過ごすことができました。詳しい様子は「図書だより」をご覧ください。

また、今年は21人の子供たちで、これまで約4800冊の本の貸し出しがありました。一人あたりにすると約230冊借りたこととなります。読書離れが言われている中、本校の児童は本をよく読んでいます。

読書週間や図書集会等を契機に、子どもたちがますます本を好きになってくれたらうれしいです。



外部指導者による書写指導(12月15日・22日)

書写の時間の外部指導者として井川蓮水(いがわ れんすい)先生をお迎えし、毛筆と硬筆の指導をいただいています。これまで先生には書写指導を通して芦安小や芦安地区に長い間かわりを持ってくださっています。

指導の題材は来年の書き初めです。子どもたちは、普段の授業での書写とは一味違った専門的な指導に緊張感をもって取り組んでいました。



スケート教室1・2・3年生(12月19日)

恒例のスケート教室が19日に、小瀬アイスアリーナで開催されました。このスケート教室には低学年生が参加します。インストラクターの説明を受けた後、実際に滑って見ましたが、最初は中々うまくいきません。おっかなびっくり滑っている児童が多くいました。しかし、後半は徐々に転ぶ回数も減り、スピードも出しながら異学年の友達とも楽しそうに滑っていました。



これからも様々な体験を通して、多くのことを学べる機会を創っていきたいと考えています。

児童会選挙(12月20日)

来年度の児童会役員選挙の立会演説会と投票が行われました。



今年は、5人の立候補者が公約を基に選挙活動を行ってきました。立会演説会ではどの候補者も自分の考えを立派に発表することができました。選挙の結果、児童会長に田中さん、6年副会長は小林さん、5年副会長は疋田さんに決まりました。来年度は今年以上に諸行事などで中学生との取り組む機会が増えます。小中のリーダーの一員として活躍してほしいです。

また、選挙管理委員の取組や演説会などの進行も、演説を聞く子どもたちの様子もとてもよかったです。来年度も素晴らしい年になりそうです。

すべての子どもが、いろいろな場面で活躍できるのが本校の長所です。来年も全員が児童会の一員として活躍し、多くのことを学び成長してほしいです。